

復興大臣

竹下 亘 様

要 望 書

福島県いわき市長 清水 敏男

双葉地方町村会長 渡辺 利綱

要 望 者

	職名	氏名	備考(役職名)
	いわき市長	清水 敏男	
双葉地方町村会	大熊町長	渡辺 利綱	会長
	浪江町長	馬場 有	副会長
	広野町長	遠藤 智	
	檜葉町長	松本 幸英	
	富岡町長	宮本 皓一	
	川内村長	遠藤 雄幸	
	双葉町長	伊澤 史朗	
	葛尾村長	松本 允秀	

復興公営住宅の一日も早い整備と、いわき市民といわき市内に避難している方々との融和を図る交流施設の整備への支援について

いわき市においては、自らが被災地でありながらも、双葉郡などから約24,000人の避難者を受け入れ、その方々の暮らし全般を支えるため、ごみ処理や上下水道、道路や公園などのほか、医療・福祉、教育の分野においても、必要な行政サービスを提供しているところであります。

こうした中、原子力発電所事故による長期避難者向けに、福島県内で整備が計画されている復興公営住宅4,890戸のうち、約4割に当たる1,768戸がいわき市内で計画されておりますが、震災から4年近くが経過した今、いわき市内の住宅の5割を超える898戸の整備が平成29年度までずれ込む見込みとなるなど、避難している方々の生活再建の要となる住宅の確保が厳しい状況であることが明らかとなりました。

また、宅地需要の増加等により、いわき市内での不動産購入が困難になるなど、住環境を始め、いわき市民と避難している方々相互の更なる理解が必要な状況が生じております。

このようなことから、いわき市・双葉郡としては、復興公営住宅の一日も早い整備と、いわき市民と避難している方々との交流するための施設の整備を福島県に要請しているところであります。

このような状況を踏まえまして、以下のことについて要望いたします。

- ① 原子力発電所事故による避難者向け復興公営住宅を一日も早く整備できるよう支援すること。
- ② いわき市民と避難している方々との融和を図るための交流施設として、パークゴルフ場、市民農園、小体育館をいわき市内に早期に整備できるよう支援すること。